

窓口支援事例 【石川県 知財総合支援窓口】

企業情報

株式会社ソロモン			
所在地	石川県かほく市横山リ160番地1		
ホームページ URL	https://shlomo.jp/		
設立年	1995年	業種	アイデアの提案、自社開発製品の製造・販売、コンサルティング
従業員数	1人	資本金	1,000万円

企業概要

当社は、「自社製品を販売するメーカー」「完成した事業や知財の販売」「他社の事業をプロデュース」と大きく分けて3つの業務を行っています。ゼロから製品を開発しメーカーとして営業してきました。その経験を元に事業をプロデュース致します。その過程で発生する商品や特許の販売も行っています。

また、当社が自主的に商品企画、マーケティング、製品開発を行い販売実績ができた事業を譲渡します。受賞歴：グッドデザイン賞ベンチャーフェア 2000 in JAPAN 審査委員会奨励賞受賞



自社の強み

当社は、近年地球温暖化に対応するアイデアとして放射冷却や気化熱を利用した冷却方法の特許を取得してきました。建築物では室内を放射冷却により外気温より5℃冷やすことに成功し、気化熱を利用した特許では体表面を外気温より10℃冷やすスポーツウェアやドリンクボトルカバーなどの特許を保有しています。

「建築物」：特許第6209806号

「冷却ドリンクボトルカバー」：特許第5551816号

「スポーツウェア」：特許第5521170号



一押し商品

一押し商品は、冷却ドリンクボトルカバーです。特許第5551816号として特許権を取得しています。これはボトルカバーを水に濡らす事により、ドリンクボトル内を気温より約10℃冷却できます。2～4時間に一度カバーに保水すれば効果は半永久的です。また、炎天下では保冷ボトルを使っても1時間程度でドリンクが熱くなりますが、このカバーを使えばいつでも水道水のようなつめたいドリンクが飲めます。2018年は約2千個販売しました。

この特許は、冷却シートの特許であり冷やす物は問いません。現在、犬用の服を試作中です。夏期ペットの熱中症対策に有効と思われます。ドッグランではこの冷却シートを使った服を着た犬だけが休まず走り続けていました。商品化する予定です。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は知財総合支援窓口の共同利用端末を使って特許出願や商標出願書類の提出を行っていました。窓口に来られる機会に、海外知財プロデューサーや海外知財専門家派遣について説明しました。その中にはマネジメン事業者の海外知財専門家派遣のオプションメニューとして契約書作成支援がある事を説明し、台湾企業との契約交渉の相談があったので利用する事を勧めました。

最初の相談概要

同社が国内販売している冷却ドリンクボトルカバーについて台湾企業から代理店の申し入れがあり、社長は台湾での販売促進に当たりリスクを最小限にして進めたいと考えました。契約についての相談があり、契約書作成支援の利用を提案しました。

その後の相談概要

同社は国内では、アマゾン、ヨドバシカメラ、サイクルベースあさひなど通販で既に販売しており、海外からも通販で購入する消費者がいます。台湾企業は台湾への相談企業が費用負担する特許出願と無償の販売独占を望んでいますが、流通の性格上独占できない販売ルートがあり対応を検討しています。また同社は台湾以外にインドネシア、タイ、米国、EU、カナダ、オーストラリアへの輸出を考えています。そこで海外知財専門家派遣を行って、契約書作成について助言を貰い、契約書作成支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は海外へ製品を輸出するにあたり、隠れたリスクが明確になったためリスクを回避した形で、台湾企業と有利な条件で契約書を締結する事ができました。同社はスポーツウェアに関する実施許諾交渉を国内外の企業と行っていますが、冷却ドリンクカバーの契約手法が生かせる場面も想定できると考えています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

海外での事業展開を進めるにあたり、海外知財プロデューサー派遣やマネジメン事業者の海外知財専門家派遣及び契約書作成支援があるので、利用することをお勧めします。

窓口担当者から一言 (氏名：島田 隆)



知財総合支援窓口では、産業財産権の国内取得及び外国での権利取得の支援を行っております。これらの権利を有効に活用して、企業経営にプラスとなるようなアドバイスを心がけています。気軽なお声かけをお待ちしています。

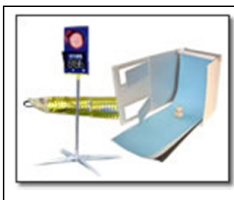
企業情報

株式会社バイオソーダイレクト			
所在地	石川県かほく市横山リ160番地1		
ホームページ URL	http://vocdirect.jp/		
設立年	1995年	業種	アイデアの提案、アイデア製品の製造・販売、コンサルティング
従業員数	1人	資本金	1,000万円

企業概要

当社は、「自社製品を販売するメーカー」「完成した事業の販売」「他社の事業をプロデュース」と大きく分けて3つの業務を行っています。ゼロから製品を開発しメーカーとして営業してきました。その経験を元に事業をプロデュース致します。その過程で発生する商品や特許の販売も行っています。

また、当社が自主的に商品企画、マーケティング、製品開発を行い販売実績ができた事業を譲渡します。



自社の強み

当社は、厚みのあるメッシュ状の特殊なニット素材を活用した商品を開発しました。この素材は中空構造になっているため、空気の流れる隙間を作りだし、熱を分散します。

この素材を活用して、バイク用ウェア・ノートパソコン下敷き・ヘルメットを開発しました。

「バイクール」：特許第4573305号

「クールメット」：特許第4172720号



一押し商品

一押し商品は、冷却ドリンクボトルカバーです。特許第5551816号として特許権を取得しています。また「bicool」として商標出願しています。

これはボトルカバーを水に濡らす事により、ドリンクボトル内を気温より約10℃冷却できます。2時間に一度カバーに保水すれば効果は半永久的です。

また、炎天下では、保冷ボトルを使っても1時間程度でドリンクが熱くなりますが、このカバーを使えばいつでも水道水のようなつめたいドリンクが飲めます。現在この冷却ドリンクボトルカバーは、アマゾン、ヨドバシカメラ、サイクルベースあさひなどで販売しています。

また、このボトルカバーと同じ生地を使ったスポーツウェア（特許第5521170号）の開発も進めおります。



知財総合支援窓口活用のポイント

窓口活用のきっかけ

同社は知財総合支援窓口の共同利用端末を使って特許出願や商標出願書類の提出を行っていました。窓口に来られる機会に、海外知財プロデューサーや海外知財専門家派遣について説明しました。その中にはマネジメン事業者の海外知財専門家派遣のオプションメニューとして契約書作成支援がある事を説明し、台湾企業との契約交渉の相談があったので利用する事を勧めました。

最初の相談概要

同社が国内販売している冷却ドリンクボトルカバーについて台湾企業から代理店の申し入れがあり、社長は台湾での販売促進に当たりリスクを最小限にして進めたいと考えました。契約についての相談があり、契約書作成支援の利用を提案しました。

その後の相談概要

同社は国内では、アマゾン、ヨドバシカメラ、サイクルベースあさひなど通販で既に販売しており、海外からも通販で購入する消費者がいます。台湾企業は台湾への特許出願と独占販売を望んでいますが、流通の性格上独占できない通販ルートがあり対応を検討しています。また同社は台湾以外にインドネシア、タイ、米国、EU、カナダ、オーストラリアへの輸出を考えています。そこで海外知財専門家派遣を行って契約書作成について助言を貰い、契約書作成支援を行いました。

窓口を活用して変わったところ

同社は海外へ製品を輸出するにあたり、隠れたリスクが明確になったためリスクを回避した形で、台湾企業と有利な条件で契約書を締結する事ができました。同社はスポーツウェアに関する実施許諾交渉を国内外の企業と行っていますが、冷却ドリンクカバーの契約手法が生かせる場面も想定できると考えています。冷却ドリンクカバーの昨年の販売数は国内外1000個、今年は5,000個～10,000個の販売を計画しています。

これから窓口を活用する企業へのメッセージ

海外での事業展開を進めるにあたり、海外知財プロデューサー派遣やマネジメン事業者の海外知財専門家派遣及び契約書作成支援があるので、利用することをお勧めします。

窓口担当者から一言（氏名：島田 隆）



知財総合支援窓口では、産業財産権の国内取得及び外国での権利取得の支援を行っております。これらの権利を有効に活用して、企業経営にプラスとなるようなアドバイスを心がけています。気軽なお声かけをお待ちしています。